



2010年1月22日(金)

マーケット情報

ベトナム株式市場: 小幅続落

22日のベトナム市場は乱高下後、小幅反落となった。2009年中に株価の上昇した銘柄の中に利食いの売りが優勢で、一時VN指数は472ポイント台まで下落した。その後、リコジ16(LCG)など不動産・建設株の業績期待で買い戻しとなったため、VN指数は-0.83ポイント(-0.17%)の477.59ポイントで取引を終了。ハノイ市場のVH指数は-0.06ポイント(-0.04%)の157.58ポイントと前日とほとんど変わらず。個別では、リコジ16(LCG)が+5%のストップ高となったがイントレスコ不動産(ITC)、キンバックシティグループ(KBC)が変わらずなど建設・不動産株が二極化。サイゴン証券(SSI)が+1.2%、サコムバンク(STB)とビナムミルク(VNM)が変わらずなど優良銘柄の動きが鈍化。新規上場のCMGが基準価格3.5万ドンで取引を終了。

トピックス

〇1月22日、HOSEに新規上場2銘柄

22日、CMC技術グループ(CMG)とTMT自動車(TMT)はホーチミン証券取引所に新規上場した。(詳細は右側の上場情報コーナーをご参照)。

CMGは1993年に設立、前身は国家電子技術研究局のADCOM研究センター、1995年に社名変更した。2006年にCMC技術(株)からグループ会社に組織変更、8子会社、1連結会社から成る。パソコンを生産販売、コンピュータテクノロジーの開発・設計・移転・応用、ソフトウェアの生産、インターネット及び通信ネットワークのインフラ設計、開発を行う。その他、ソフトウェア、情報技術設備の製造・組立なども展開している。情報通信の設備を製造、販売、IT専門技術者を育成、IT関連製品の貿易事業なども手掛ける。国内では、情報通信業界におけるブランドの知名度があり、CMSパソコンは学校、政府系の事務所で使われている。2008年利益の内訳をみると、通信ネットワーク組立部門が47.7%、ソフトウェア事業が13.2%、パソコン製造部門が9.3%、情報通信製品の貿易事業が22.9%の割合。2009年の売上高が3兆7552億ドン、利益が1267億ドンの見通し。

TMTは1976年に設立、前身は交通省機械局の機械部品会社。2000年に組織変更を行い、事業を拡大した。バイクの組立・部品製造から自動車・軽トラック・バイクを製造、自動車部品製造、機械部品輸入販売などを手掛ける。2006年に株式化、株式の22.4%を政府が、24.1%を従業員が保有している。軽トラック市場シェアは約33%。08年の売上高が2兆2354億ドン(前年比+124%)、純利益が1017億ドン(同+35%)。10年の売上高が2兆3700億ドン(09年比+24%)、純利益が1199億ドン(+21%)の見込み。

本日の注目発表

〇カレンダー

権利落ち

- 1/22 VGP 普通配当800ドン/株、支払予定日:2/8
- 1/25 TTC 普通配当500ドン/株、支払予定日:2/10
- 1/27 AGF 普通配当1000ドン/株、支払予定日:2/26
- 2/1 PPC 普通配当1200ドン/株、支払予定日:3/2

上場関連

- 1/22 TCM 600万株を追加上場(個別発行分)
- 1/22 TMT TMT自動車 HOSE新規上場
上場株数:1257万、基準価格:4.6万ドン、初日:±20%
- 1/22 CMG CMC技術グループ HOSE新規上場
上場株数:6353万、基準価格:3.5万ドン、初日:±20%
- 1/26 NHW ゴハン HOSE新規上場
上場株数:2295万、基準価格:2.2万ドン、初日:±20%
- 2/2 HDG ハドグループ HOSE新規上場
上場株数:1350万、基準価格:8.6万ドン、初日:±20%

〇対VND為替レート

(出典:ベトナム銀行)

通貨	TTB	TTM	TTS	通貨	TTB	TTM	TTS
AUD	16,683	16,784	17,078	JPY	199	201	205
EUR	25,912	25,990	26,393	SGD	13,080	13,172	13,376
GBP	29,772	29,982	30,447	THB	551	551	576
HKD	2,353	2,370	2,407	USD	18,469	18,469	18,479

〇内部者等株式買取・売却発表

- STB:副社長が2万株を売却、保有株数を1万4950株に引き下げた。
- COM:ペトロベトナムオイル(PV Oil)が11万株を買い入れ、保有株数を206万9100株(21.7%)に引き上げた。その他、サイゴン証券が5万5500株を売却、保有株数を40万5660株(4.85%)に引き下げた。
- BMC:ビンディン県市民委員会が19万3520株を売却、保有株数を186万株(22.51%)に引き下げた。
- STL:副社長が1万株を買い入れる予定。

〇上場企業関連ニュース・発表

- TAC:2009年1~12月累計売上高が2兆6450億ドンと2008年比-11.6%となる見通し。
- UNI:2009年1~12月累計売上高が1064億ドン、税引後利益が174億ドンと計画のそれぞれ152%、145%を達成した。
- D2D:2009年売上高が941億ドン、税引後利益が482億ドンと2008年と比べるとそれぞれ-50%、+5%した。
- VHG:第4四半期の売上高が132億ドン、税引後利益が107億ドン。2009年1~12月累計売上高が541億ドンと2008年と比べ+11.6%増加した。税引後利益が63億ドンと前年比ほとんど変わらず。
- VGP:第4四半期の売上高が275億ドン、税引後利益が25億ドン。2009年1~12月累計売上高が1527億ドンと計画比83.9%を達成した。税引後利益が228億ドン、EPS=3781ドン(PER7.2倍)

オリエント証券株式会社【関東財務局長(金商)第54号】

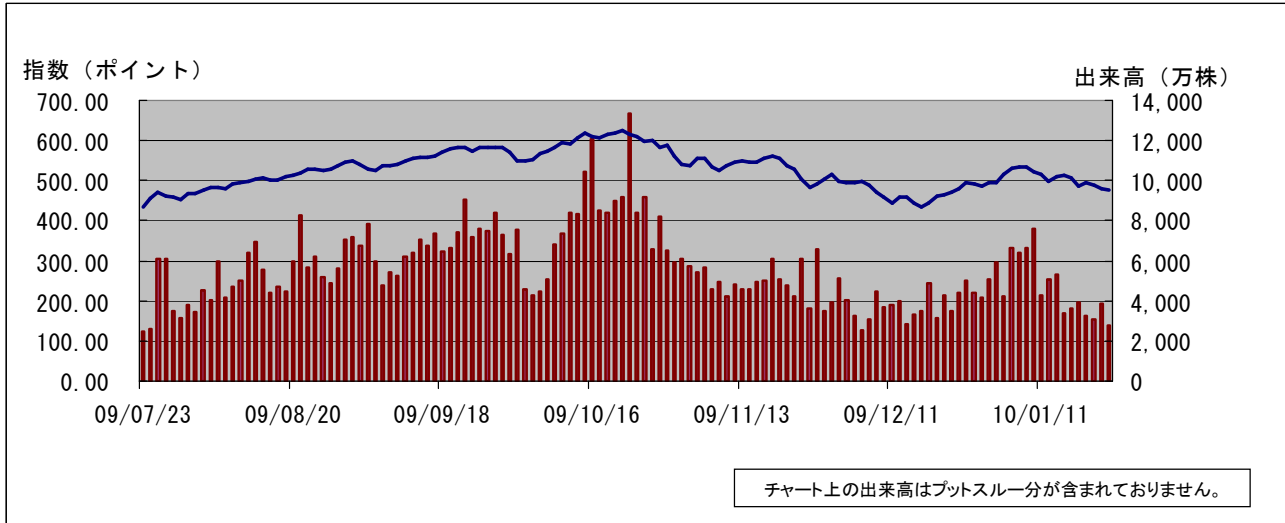
加入協会 日本証券業協会 主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、基本取扱手数料(約定代金×2.10%(最低手数料800,000ドン)) (税込)が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。

□ VN 指数

VN 指数	477.59	前日比	-0.83 (-0.17%)
全出来高 (万株)	3,007	値上り銘柄数	64
売買代金 (百万 VND)	1,239,590	値下り銘柄数	88

□ VN 指数チャート(日足6ヶ月)



□ HOSE 値上り・値下り上位5銘柄

値上り上位5銘柄				
コード	銘柄名	終値	前日比	売買代金
LBM	ラムドン鉱産建設資材	14.7	+5.00	1,065
LCG	リコジ16	73.5	+5.00	61,709
KSB	ビンズオン建設鉱産	46.3	+4.99	0.4
VNS	ピナサン	38.9	+4.85	6,139
SCD	チュオンズオン飲料	24.2	+4.76	167

値下り上位5銘柄				
コード	銘柄名	終値	前日比	売買代金
NAV	ナムベト	13.3	-5.00	232
KSH	ハナム鉱山	42.1	-4.97	2,609
TS4	第4水産	32.5	-4.97	5,336
VNI	ヴィエンナム不動産投資	27.2	-4.90	603
FDC	ホーチミン市投資開発貿易	35.3	-4.85	2,757

※終値は1千 VND、前日比は%、売買代金は百万 VND

□ HOSE 売買代金上位5銘柄

コード	銘柄名	終値	前日比	売買代金
SSI	サイゴン証券	83.0	+1.22	90,603
LCG	リコジ16	73.5	+5.00	61,709
KBC	キンバック・シティグループ	56.5	0.00	61,272
ITC	イントレスコ不動産	78.0	0.00	46,449
CII	ホーチミン市インフラ投資	38.5	-3.27	38,453

※終値は1千 VND、前日比は%、売買代金は百万 VND

オリエント証券株式会社【関東財務局長(金商)第54号】

加入協会 日本証券業協会 主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式へのご投資には、基本取扱手数料(約定代金×2.10% (最低手数料 800,000ドン)) (税込)が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。